

簡単?強力低価格な無料電力発生機

=Fly-Back 駆動自発発電螺旋回路法。

2024/4/28,29,30,5/7

筆者は上記方法で入力電力 236W で正味出力 246W を観測、核心が**螺旋電流臨界値**、20A を超えると**電流2乗値出力増**が期待されてる。
更なる出力増テストを試みると 300W 出力の 20~300v 自作電源が理由不明出力頭打ち動作、過負荷でない**不明原因故障頻発**、
有志諸氏に技術情報公開,,**追試をお願いします**。無料電力発生機成功例情報は仏技術者(3818W output by 1805W input)。

警告 : 本件追試等に関わる事故は自責である事を始めに了解ください。777true.net は責任を負えません。

The Quest For Overunity (c) JLN Labs 1997-2013 - by Jean-Louis Naudin

<http://www.jlnlab.com>

<http://jlnaudin.free.fr/gegene/gegene09en.htm><http://jlnaudin.free.fr/gegene/gegene09en.htm>

184vx20.75A(max30 ? A)=3818W,負荷 $R_L=8.87 \Omega$, 駆動周波数 $f=22\text{KHz}$,

実用出力 :

Naudin 氏の 3800W 出力中の 1800W を**自走電力**に回し、残り 2000W が正味出力でこれは**家庭一般電力**。
未確認だが筆者方法も同様結果を得られると強く期待してる。

①螺旋回路幾何学での電磁場特異性発生による動作原理:

TESLA SECRETS FOR EVERYBODY. by Vladimir Utkin u.v@bk.ru

螺旋回路は N マシン相当、Lorentz 力が指摘されてる。以下は無料電力技術の電磁理論基礎。

<http://777true.net/BWG.pdf>

*2004 年関係者立ち合い縦波電界波発電法で少量ながら臨界超越実験、誘電結晶価格で実用化とん挫、

(1)中心から外周に時計回り電流= I あらば中心高電圧、外周低圧で**半径方向電界= V** が存在。

(2) I は磁束 $B(x,t)=\mu \oint dr^3 \cdot I(r;t=R/c)/4 \pi R(|x-r|)$ を伴い、電流間相互作用 $f=I \times B$, Lorentz 力発生、

これが V 追加起電圧!、上記 L 力は電流反転で方向不変、だから逆方向電流では逆作用、

*二端子自然回路ながら螺旋回路は極性非対称があり、電流増で顕著になる観測事実。

(3)電流間相互作用 energy $= - \int dx^3 j(x,t) A(x,t) = - \mu \int dx^3 \int dr^3 \cdot j(x,t) j(r;t=R/c)/4 \pi R(|x-r|)$

*電磁場 energy 密度: $\mathcal{H}_{\text{EM}} = -\frac{1}{2} \alpha B B + \frac{1}{2} (E D + H B) - (j + j^b) A + (\rho + \rho^b) \phi - E \cdot D$.

(4)例えば**並行電流間では引力発生**、それは負 energy 発生、相殺として正 energy 必要。

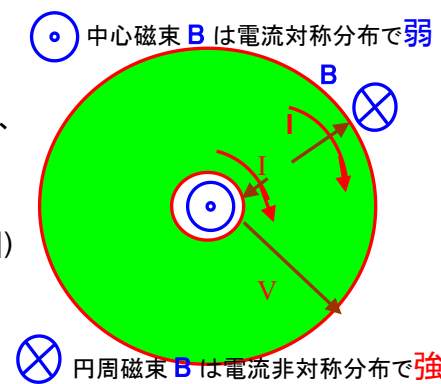
電流は高压源から低压源に方向に正電荷が流れる、または負電荷が逆向きに流れる。

正負電荷間では引力は直観理解できる、

逆向き流負電荷は正電荷の逆方向=元の正電荷と並行流、引力になる。

(5)螺旋回路解析的 impedance は筆者不明、試行錯誤で難儀。低周波では大筋 L 性。

現代では計算機 simulator が幅広く普及。彼らは予測計算ができる。



②追試方法:

(1)螺旋回路製作.

NIKOLA The GEGENE : How To build the Tesla bifilar flat coil...黒赤線 AB 複線巻き 15t

<http://jlnaudin.free.fr/gegene/gegene02en.htm>

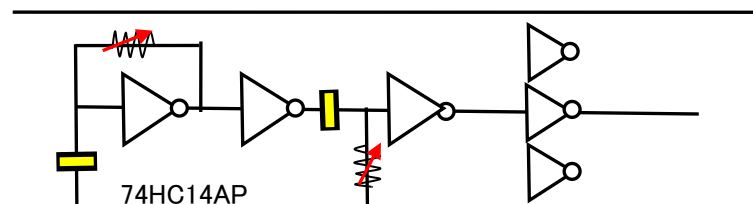
線サイズ(SQmm2)	外形(mm)	許容電流(A)
0.75GR<筆者同一>	0.5	11A?<DCR=0.22Ω、発熱する!!>

螺旋巻き回転方向の注意:

Tesla は左きき?反時計回りで中心から円周方向に巻いてるが、**右利き筆者は時計方向巻きでした**。
裏返すと同じになります。**回路図 AB は筆者まき**。
本件では極性は本質的です。

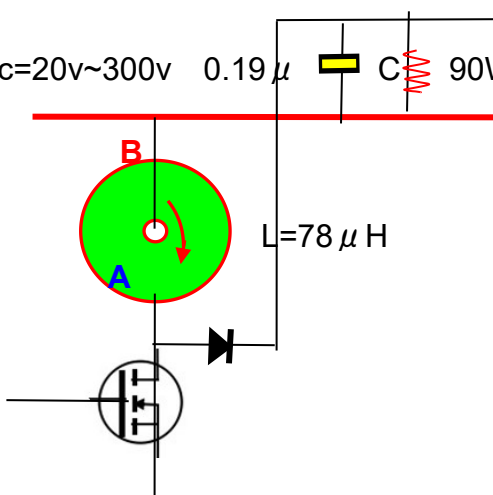
(2)pulse 発生器&FET 駆動回路と Fly-Back 回路

回路図参照、部品あれば自作もできます、

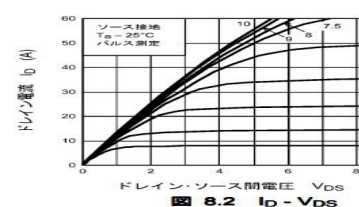


最集団は並列駆動で FET 大入力容量に対応、超高速 SW が可能
電源電圧はメーカ禁止の 7.5v、大型 FET 対応。

$V_{CC}=20v\sim 300v$ 0.19 μ C 90WLBx5=22 Ω 以下



TK31J60W Nch 600V, 30.8A ;;3000p;32/8.5ns
0.073 Ω (標準), , $V_{GTH}=5\sim 7v$,



https://toshiba.semicon-storage.com/info/TK31J60W_datasheet_ja_20131226.pdf?did=13526&prodName=TK31J60W

diode::USR30P6A-DJK,,600vx30A

(3) Fly-Back 回路設計公式:

螺旋回路 swFET 最大電流 I_D	入力電力 P_i	Fly Back 特性 impedance = Z	LC 共振周波数 = f_R
$I_D = V_{CC} \tau_{on} / L$	$P_i = f_s L I_D^2 / 2$	$Z = \sqrt{L/C}$	$f_R = 2 \pi \sqrt{L/C}$
数値例 $200V \times 10 \mu s / 78 \mu H = 25.6A$	256W $= 10KHz \times 78 \mu s \times 25.6A^2 / 2$	20.2Ω = $\sqrt{(78\mu / 190nF)}$,	41kHz = $1/2 \pi \sqrt{(78\mu / 190nF)}$
V_{CC} : 入力電源電圧 τ_{on} : FET SW on time. L: 螺旋回路 inductance	f_s : FET sw 周波数	c: 整流容量 5個電球 LB 並列負荷 = $111 \Omega / 5 = 22.2 \Omega$	$T_R/2 = 12 \mu s$: 共振反周期 $T_R/2 < 1/f_s = T_s$.



$\tau_{on} = 15\mu s < 7414 \text{ 出力} >$
 $P_i = 128V \times 1.85A = 236W < \text{電源停止電圧??} >$
 $P_o(70rms) = 49W \times 5LB = 245W (CH 1)$
 $P_L = P_o \times (0.22 \Omega / (99.7/5) \Omega) = 2.7W (SPC \Omega \text{ 損}) \dots \dots \text{計算推計値} \neq \text{観測値}$
 *FET, diode にも若干の Ω 損

電球出力特性表・90WLB

V_{DC}	70V
V_{AC}	99.0
I	0.702
P	49.1W
R	99.7

最大電流 = 計算推計値 \neq 観測値
 $I_D(max) = 128V \times 15\mu s / 78\mu H = 24.6A (CH2)$

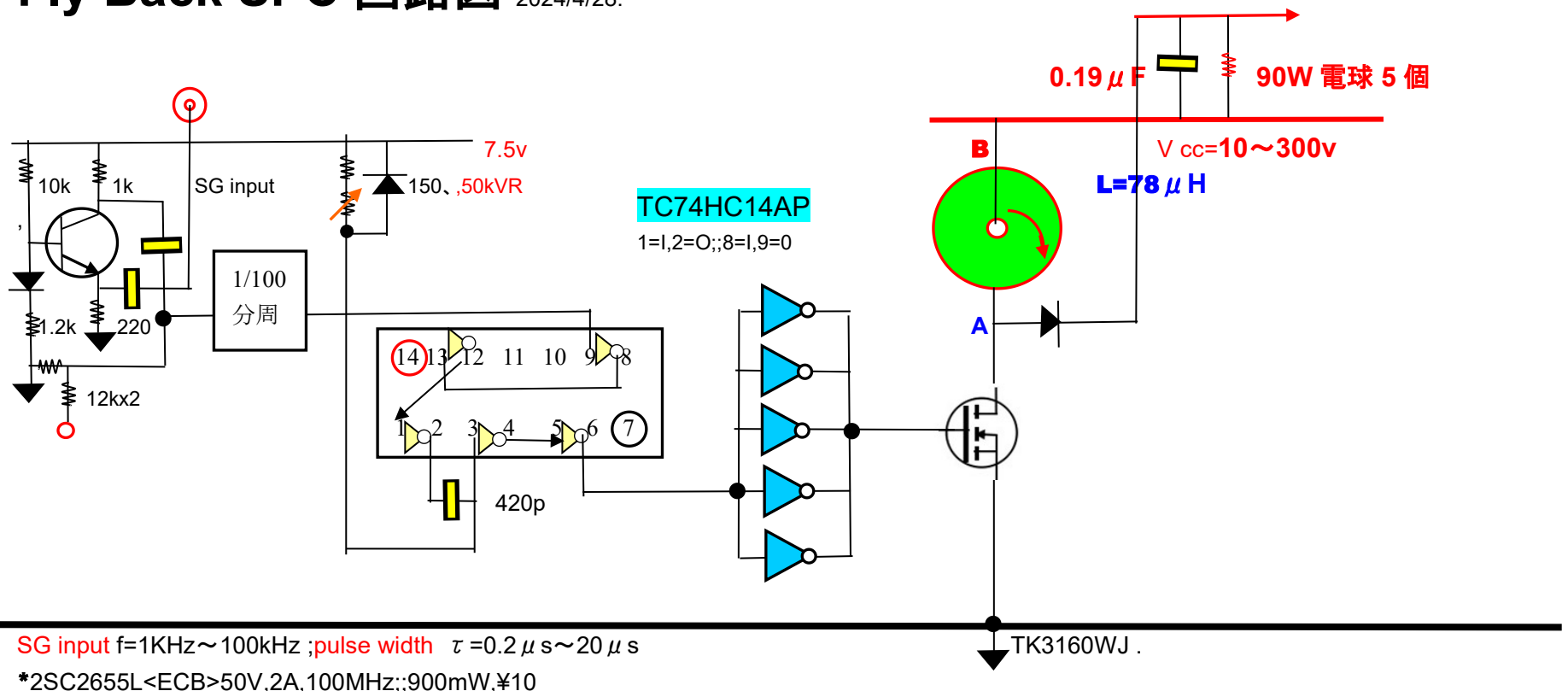
(4) 20v~300v, 3,4,500W 直流電源 <螺旋回路 swFET の最大 30A 対応>

上記の SW 電源自作は過電流保護回路で難儀、未完成。

読者への投資要請:

- ① 上記電源を無料でお貸しください
- ② 上記電源を用意出来る方は筆者を実費負担で招請の上、立ち合い実験を希望します。
 (a) 故障と改造工事を必要されるので電子工作工具と測定器用意が必要です。
 多チャンネル.デジタルオシロスコープ、
 100KHz~10MH の信号発生器、関数発生器等、
 万能テスター複数個、
 (b) 電子部品は可能な限りは持参します、不足あれば現地で発注調達です。
 *時間余裕あれば回路製作を手伝います。
 (c) 日帰りが出来ない場合は無料宿泊提供おねがします。
- ③ 提供者は実質筆者のB波工房投資家、将来利益では貢献寄与率で配当があるべきです。 契約内容は事前相談です。螺旋回路 Fly Back 駆動は自力創意ですが特許権不明。本文書は自然発生著作権はあります。 結果を出した読者は報告をお願いします。
vk9ec5@bma.biglobe.ne.jp

Fly Back SPC 回路図 2024/4/28.

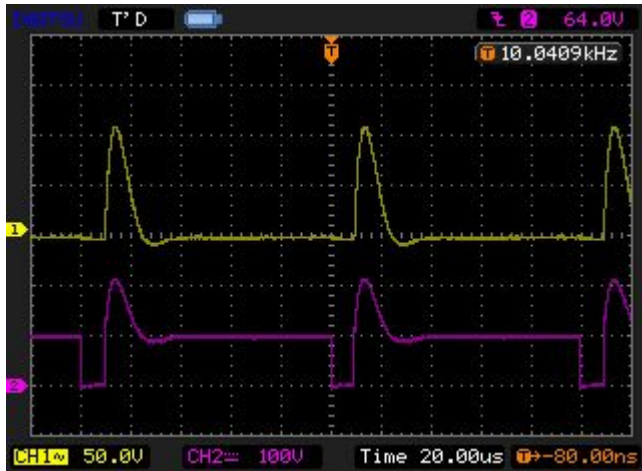


回路運転手順と注意点！！。

警告：本件追試等に関わる事故は自責である事を始めに了解ください。777true.net は責任を負えません。

大電力回路！、故障不備は大破損になる、主に swFET, 連座して駆動回路7414も破損、
とはいえど出力回路を見れば単純至極で強靱です。筆者はその励起電源で難儀。

- (1)Pulse 発生回路電源 7.5V ON,電流は微量、もし 50mA を超えると故障あり、即座に off 停止で修理。
- (2)swFET 高圧電源 ON,低圧から電力電流過大に注意し波形正常(以下)の様子を見ながら最終高圧迄昇圧、電力電流過大 & 下記波形でないときは故障、**即座に電源 off、遅れると破損大になります。**



- (3)上記では 10kHz surge pulse 出力(CH1)だが、LB(電球)熱量温度平滑要素が働き、直流同様に見える。
 - (4)SW 高率で $I_D(\max)=20A$ 程度では FET,diode はさして熱くならないが,30A 施行では破損防止大型放熱器は必須
- (a)FETSW 熱損単純推計 $T_K 3 1 J 6 0 W N c h 600v \times 30.8A ; r_D=0.073\Omega$ (標準) > : 2024/5/7 改定
https://akizukidenshi.com/download/ds/toshiba/TK31J60W_datasheet_ja_20131226.pdf
許容放熱量 $Q_D=(120K-20K)/熱抵抗(\Theta(J-C)+\Theta(C-A))=100K/(0.543K/W+1.5K/W)=50W$
設計目標 : $I_D(\max)=(V_{cc} \tau / L)=(180v \times 15\mu s / 78\mu H)=34.6A$.
入力電力 : $P_i=f_s L I_D(\max)^2 / 2=10kHz \times 78\mu H \times 34.6A^2 / 2=467W$

FET on 抵抗損失 (τ =ON 時間)

$$I_D(t)=(V_{cc} \tau / L)(t / \tau)=(V_{cc} / L)t.$$

$$Q_F=f_s r_D (V_{cc} / L)^2 \int_0^\tau dt.t^2=f_s r_D (V_{cc} / L)^2 (\tau^3 / 3)=10kHz \times 0.073\Omega \times (180v / 78\mu H)^2 (15\mu s^3 / 3)=4.4W$$

大電流 35ASW 遷移時間での VI 交差は大きく 50W を超えるのでは?,以下は直線近似粗推計。

ON 損失(t_d =遷移時間) : $I_D(t)=(V_{cc} \tau / L)(t / \tau)=(V_{cc} / L)t$.

$$V_{on}(t)=V_{cc}(1-t/t_d)$$

$$Q_d=f_s \int_0^{t_d} dt.I_D(t)V_{on}(t)=f_s (V_{cc}^2 / L) \int_0^{t_d} (t-t^2/t_d) dt.=f_s (V_{cc}^2 / L)(t_d^2 / 6)$$
$$=10kHz(180v^2 / 78\mu H)(1\mu s^2 / 6)=0.7W ?$$

OFF 損失(t_r =遷移時間) : $I_D(t)=(V_{cc} \tau / L)(1-t/t_r)$.

$$V_{off}(t)=V_{cc}(t/t_r)$$

$$Q_r=f_s \int_0^{t_r} dt.I_D(t)V_{off}(t)=f_s (V_{cc}^2 / L) (\tau / t_r) \int_0^{t_r} (t-t^2/t_r) dt.=f_s \tau (V_{cc}^2 / L)(t_r / 6)$$
$$=10kHz \times 15\mu s (180v^2 / 78\mu H)(4\mu s / 6)=42W ?$$

(b)diode SW 熱損粗推計

<https://akizukidenshi.com/goodsaffix/fmx32s.pdf>

$$T_{on}=\pi \sqrt{LC}=\pi \sqrt{78\mu s \times 0.19\mu s}=12\mu s$$

$$許容放熱量 Q_D=(120K-20K)/熱抵抗(\Theta(J-C)+\Theta(C-A))=100K/(2K/W+3K/W)=20W$$

$$Q_D=f_s V_D I T_{on}=10kHz \times 1.0v \times 18A \times 2 \times 12\mu s=4.3W ?$$

(5)電源自給方式設計と暴走事故可能性！！：

最終的に電源自給方式にします。供給回路は正帰還、制御回路で負帰還にします。

③既存電力業界問題：

無料電力技術を快く思っていない。筆者太陽光パネル 300W(2000 円/月電気代利得?)も**犯罪被害破損**で今動作にないが、買え費用がない。

3月に非課税所得世帯給付金7万があると**2万円盗難**、これがあれば買えたのだが。1兆2000億円の米国素粒子実験施設建設完成を無用にした男への岸田政府&野党立憲民主党の対応です。

[衆院補選、投票率は3選挙区とも最低 自民の擁立見送りも影響か](#)

<https://news.yahoo.co.jp/articles/94f5a43f31a5f61708a93c64bd5904830903cbc9>

産業保護政策は必要でどこの国も自国軍事防衛として**農業**はやってる。しかし**農業&エネルギー日本**は自立自国軍事防衛にないです!!!ここに内部留保金余り大企業&富裕国民の義務があるかと思えます。

[日本のエネルギー事情。関西電力株式会社](#)

https://www.kepco.co.jp/energy_supply/energy/nowenergy/japan_energy.html

日本はエネルギーの大量消費国でありながら、エネルギー自給率がわずか12%、エネルギー資源の乏しい日本・高水準で推移する日本の電力消費・求められる輸入に依存しない構造。...

付録1:螺旋回路、駆動回路、5LB(並列90Wx5).2024/4/30。

